



令和元年度 第3四半期（令和元年10月 1日～令和元年12月31日）

環 境 放 射 線 管 理 報 告 書

2019再放発第40号

令和2年2月13日

原子力規制委員会 殿

住所

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸

字沖付4番地108

名称及び代表者の氏名

日本原燃株式会社

代表取締役社長 社長執行役員

増田 尚宏

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び使用済燃料の再処理の事業に関する規則第21条第2項の規定により次のとおり報告します。

工場又は 事業所	名 称	再処理事業所
	所在地	〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸

測定対象	採取		測定		測定値 ^{注1}		平常の変動幅 ^{注1,注2}	単位	備考	
	採取点	頻度	頻度	対象	最小～最大	比較対照				
					最小～最大	最小～最大				
空間放射線	線量率	敷地内9地点	連続	連続	モニタリング ポスト	14～88	/	17±11 (9～150)	nGy/h	・1時間平均値を示す。
		敷地外3地点			モニタリング ステーション	17～80		21±12 (11～133)		
	積算線量	敷地内9地点 敷地外14地点	連続	1回/3月	γ線	88～109	85	93±25 (71～118)	μGy/91日	・測定値は、91日当たりに換算した値を示す。 ・設置期間 敷地内：2019.9.25～2019.12.25 敷地外：2019.9.26～2019.12.26
空気	浮遊じん	敷地内9地点	連続	連続	全α放射能	6.6	/	7.3	Bq/m ³	・1時間平均値の当該期間の最大値を示す。
					全β放射能	6.0		7.0		
		敷地外3地点	連続	1回/週	全α放射能	0.028～0.16	/	*～0.26	mBq/m ³	
					全β放射能	0.28～0.89		*～1.1		
	敷地内9地点 敷地外3地点	連続	1回/3月	¹⁰⁶ Ru	ND	/	ND	mBq/m ³		
				Pu(α) ^{注3}	ND		ND			
	気体状β放射能濃度	敷地外3地点	連続	連続	⁸⁵ Kr	ND	/	ND	kBq/m ³	・1時間平均値を示す。
ヨウ素	敷地外3地点	連続	1回/週	¹³¹ I	ND	/	ND	mBq/m ³		
大気中湿分	敷地外3地点	連続	1回/月	³ H	ND	/	ND	mBq/m ³		
飲料水	敷地外4地点	1回/3月	1回/3月	³ H	ND	/	ND	Bq/L		
				⁹⁰ Sr	ND	/	ND	mBq/L		
				¹⁰⁶ Ru	ND	/	ND			
				¹³⁷ Cs	ND	/	ND			
				Pu(α) ^{注3}	ND	/	ND			
陸土	表土	敷地内1地点 敷地外3地点	1回/年	1回/年	⁹⁰ Sr	/	/	0.7～5.3	Bq/kg・乾	・第2四半期報告済
					¹⁰⁶ Ru	/	/	ND		
					¹²⁹ I	/	/	ND		
					¹³⁷ Cs	/	/	8～26		
					Pu(α) ^{注3}	/	/	0.23～0.98		
					²⁴¹ Am	/	/	0.09～0.38		
	湖底土	敷地外1地点	1回/年	1回/年	⁹⁰ Sr	ND	/	ND	Bq/kg・乾	
					¹³⁷ Cs	ND	/	ND～5		
					Pu(α) ^{注3}	0.73	/	0.81～1.2		
					²⁴¹ Am	0.32	/	0.29～0.52		
					²⁴⁴ Cm	ND	/	ND		
							/			
陸上植物	精米	敷地外3地点	1回/年	1回/年	¹⁴ C	0.22～0.23	/	0.23～0.24	Bq/g・炭素	
					¹⁰⁶ Ru	ND	/	ND	Bq/kg・生	
					Pu(α) ^{注3}	ND	/	ND		
	菜	敷地外2地点	1回/年	1回/年	¹⁰⁶ Ru	ND	/	ND	Bq/kg・生	・今期対象：ナガイモ(1地点) ・第2四半期報告済 対象：パレイシヨ(1地点)
					Pu(α) ^{注3}	ND	/	ND		
	葉	敷地外1地点	1回/年	1回/年	¹⁰⁶ Ru	ND	/	ND	Bq/kg・生	・今期対象：ハクサイ
Pu(α) ^{注3}					ND	/	ND			
畜産物	牛乳	敷地外4地点	1回/3月	1回/3月	¹⁰⁶ Ru	ND	/	ND	Bq/L	

注1) ND: 定量下限値未満を示す。また、測定値が計数誤差の3倍以下の場合検出限界以下とし、「*」で示す。

注2) 平常の変動幅は、次のとおり設定した。

- ・空間放射線(線量率及び積算線量)については、平成26年度から平成30年度までの5年間に於ける平均値±(標準偏差の3倍)に設定した。また、下段の()に最小値から最大値の幅を示す。
- ・空気(浮遊じんの全α放射能及び全β放射能(敷地外3地点)、気体状β放射能濃度、ヨウ素)については、平成26年度から平成30年度までの5年間に於ける測定値の最小値から最大値の幅で設定した。また、敷地内9地点の空気(浮遊じんの全α放射能及び全β放射能)については、平成26年度から平成30年度までの5年間に於ける測定値(1時間平均値の最大値)で設定した。
- ・その他については、環境試料の種類ごとに平成21年度から平成30年度までの10年間に於ける測定値の最小値から最大値の幅で設定した。

注3) Pu(α): ²³⁸Puと^{239,240}Puの合計値を示す。

測定対象	採取		測定		測定値 ^{注1}		平常の変動幅 ^{注1,注2}	単位	備考	
					最小～最大	比較対照				
	採取点	頻度	頻度	対象	最小～最大	最小～最大	最小～最大			
海	水	むつ小川原港 港湾区域内	1回/3月	1回/3月	³ H	ND		ND	Bq/L	
					⁹⁰ Sr	ND		ND		
					⁶⁰ Co	ND		ND		
					¹⁰⁶ Ru	ND		ND		
					¹³⁴ Cs	ND		ND		
					¹³⁷ Cs	ND		ND		
					¹⁴⁴ Ce	ND		ND		
					¹⁵⁴ Eu	ND		ND		
Pu(α) ^{注3}	ND		ND							
海	底	放出口付近1地点 東約1km地点1点 西約1km地点1点 南約1km地点1点 北約1km地点1点 南約3km地点1点 北約3km地点1点 物見崎沖1点	1回/6月	1回/6月	⁹⁰ Sr	ND	ND	ND	Bq/kg・乾	・報告対象:第1,3四半期
					⁶⁰ Co	ND	ND	ND		
					¹³⁴ Cs	ND	ND	ND		
					¹³⁷ Cs	ND	ND	ND		
					¹⁴⁴ Ce	ND	ND	ND		
					¹⁵⁴ Eu	ND	ND	ND		
					Pu(α) ^{注3}	0.25~0.62	0.47	0.10~0.78		
					²⁴¹ Am	0.11~0.31	0.16	ND~0.33		
²⁴⁴ Cm	ND	ND	ND							
海	魚	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3月	1回/3月	³ H	ND		ND	Bq/L	・今期対象:ヒラメ
					¹⁰⁶ Ru	ND		ND		
					Pu(α) ^{注3}	ND		ND		
	貝	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3月	1回/3月	¹⁰⁶ Ru	ND		ND	Bq/kg・生	・今期対象:アワビ
					Pu(α) ^{注3}	0.003		ND~0.006		
					¹⁰⁶ Ru	ND		ND		
海藻	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3月	1回/3月	¹⁰⁶ Ru	ND		ND	Bq/kg・生	・今期対象:チガイソ	
				Pu(α) ^{注3}	0.006		ND~0.009			
漁	網	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3月	1回/3月	γ 線表面線量率	ND		ND	nGy/h	
					β 線吸収線量率	ND		ND~37	nGy/h	

注1) ND: 定量下限値未満を示す。

注2) 平常の変動幅は、環境試料の種類ごとに平成21年度から平成30年度までの10年間に於ける測定値の最小値から最大値の幅で設定した。

注3) Pu(α): ²³⁸Puと^{239,240}Puの合計値を示す。

別表 定量下限値一覽

測定項目		単位	定量下限値	
空 気	浮遊じん	¹⁰⁶ Ru	mBq/m ³ 0.2	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu	mBq/m ³ 0.0002 mBq/m ³ 0.0002
		気体状β放射能濃度	⁸⁵ Kr	kBq/m ³ 2
	ヨウ素	¹³¹ I	mBq/m ³ 0.2	
	大気中湿分	³ H	mBq/m ³ 40	
飲料水		³ H	Bq/L 2	
		⁹⁰ Sr	mBq/L 0.4	
		¹⁰⁶ Ru	mBq/L 60	
		¹³⁷ Cs	mBq/L 6	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu	mBq/L 0.02 mBq/L 0.02
陸 土	表土	⁹⁰ Sr	Bq/kg・乾 0.4	
		¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・乾 20	
		¹²⁹ I*1	Bq/kg・乾 5	
		¹³⁷ Cs	Bq/kg・乾 3	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu	Bq/kg・乾 0.04 Bq/kg・乾 0.04
	湖底土	²⁴¹ Am	Bq/kg・乾 0.04	
		²⁴⁴ Cm	Bq/kg・乾 0.04	
		⁹⁰ Sr	Bq/kg・乾 0.4	
		¹³⁷ Cs	Bq/kg・乾 4	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu	Bq/kg・乾 0.04 Bq/kg・乾 0.04
陸上植物	精米	¹⁴ C	Bq/g・炭素 0.005	
		¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・生 4	
	根菜	Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu	Bq/kg・生 0.002 Bq/kg・生 0.002
		¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・生 4	
	葉菜	¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・生 4	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu	Bq/kg・生 0.002 Bq/kg・生 0.002
畜産物	牛乳	¹⁰⁶ Ru	Bq/L 4	

*1:放射化学分析法

測定項目		単位	定量下限値	
海 水		³ H	Bq/L 2	
		⁹⁰ Sr	mBq/L 2	
		⁶⁰ Co	mBq/L 6	
		¹⁰⁶ Ru	mBq/L 60	
		¹³⁴ Cs	mBq/L 6	
		¹³⁷ Cs	mBq/L 6	
		¹⁴⁴ Ce	mBq/L 30	
		¹⁵⁴ Eu	mBq/L 10	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu	mBq/L 0.02 mBq/L 0.02
		海 底 土		⁹⁰ Sr
⁶⁰ Co	Bq/kg・乾 3			
¹³⁴ Cs	Bq/kg・乾 3			
¹³⁷ Cs	Bq/kg・乾 3			
¹⁴⁴ Ce	Bq/kg・乾 8			
¹⁵⁴ Eu	Bq/kg・乾 5			
Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu			Bq/kg・乾 0.04 Bq/kg・乾 0.04
海 産 生 物		²⁴¹ Am	Bq/kg・乾 0.04	
		²⁴⁴ Cm	Bq/kg・乾 0.04	
		³ H*2	Bq/L 2	
漁 網		¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・生 4	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu	Bq/kg・生 0.002 Bq/kg・生 0.002
漁 網		γ線表面線量率	nGy/h 10	
		β線吸収線量率	nGy/h 30	

*2:魚類の自由水中トリチウム

環境放射線管理報告書（令和元年度第3四半期）における
空間放射線（線量率）の測定結果について

モニタリングポスト及びモニタリングステーションにおける空間放射線（線量率）のうち、平常の変動幅を上回った測定値は、表-1に示すとおり、すべて降雨等に伴う空気中の天然放射性核種に起因する自然変動であった。

表-1 空間放射線（線量率）測定結果 (nGy/h)

測定			測定値		平常の変動幅を 外れた時間数 (単位:時間)	平常の変動幅を 外れた原因と時間数 (単位:時間)		平常の変動幅 (注1)	アクティブ試験 開始前の測定結果 (注2)
測定点	項目	頻度	測定地点	最小～最大		降雨等 (注3)	その他	平均値±3σ (最小～最大)	平均値±3σ (最小～最大)
敷地内 9地点	γ線	連続	MP-1	14～49	57	57	0	17±11 (9～150)	17±11 (7～81)
			MP-2	16～62	77	77	0		
			MP-3	14～51	62	62	0		
			MP-4	14～62	69	69	0		
			MP-5	14～65	56	56	0		
			MP-6	14～55	60	60	0		
			MP-7	15～88	88	88	0		
			MP-8	15～76	67	67	0		
			MP-9	16～74	65	65	0		
敷地外 3地点	γ線	連続	MS 老部川	17～64	50	50	0	21±12 (11～133)	20±12 (7～93)
			MS 二又	18～80	81	81	0		
			MS 室ノ久保	18～77	43	43	0		

(注1) 平常の変動幅は平成26年度から平成30年度までに実施した測定結果の平均値±(標準偏差の3倍)を設定し、下段の()に最小値～最大値を示す。

(注2) アクティブ試験開始前の測定結果は平成7年度から平成17年度までに実施した測定結果を示す。

(注3) 降雨及び降雪時には空気中の天然放射性核種に起因して線量率が一時的に上昇するため、平常の変動幅を超えることがある。